

成長のStory

城北



自主性と忍耐力を養った野球部

大阪大学 基礎工学部 1年 京都大学 総合人間学部 1年

東京大学 文科二類 1年

東京大学 文科二類 1年

OB 笠松泰成さん

OB 藤村泰成さん

OB 串田祐樹さん

目標に
Lock On!!



(正面左から)笠松泰成さん、串田祐樹さん、藤村泰成さん。

受験対策は学校のみ
先生のていねいな指導が力に

儒教の精神「質実剛正」を理念とし、規律正しい生活習慣・礼儀を重んじながら、社会に有為なる人間になること、そしてトップクラスの学校へ進学し、さらに自己を磨くことを教育目標に掲げる同校。

男子校ならではの自由闊達な校風のもと、文武両道を実践し、今春、それぞれが志望する大学に合格した野球部員3人の本格的な受験勉強のスタートは、高3の夏の引退試合を終えてからでした。

「中学時代は野球中心で、日々の勉強は最低限の予習と復習の基本的なことでだけ。引退後に集中して受験勉強に取り組みました。先生は、生徒との距離が近くて、いつもいていいに質問に答えてくれました。学校が休みの日も質問を受け付け、メールで添削してくれたのは助かりました」

そう話すのは京都大学に進んだ藤村泰成さん。東京大学に現役合格した串田祐樹さんと大阪大学に進学した笠松泰成さんも、先生のサポートが心強かつたと話します。

「中学時代は野球中心で、日々の勉強は最低限の予習と復習の基本的なことでだけ。引退後に集中して受験勉強に取り組みました。先生は、生徒との距離が近くて、いつもいていいに質問に答えてくれました。学校が休みの日も質問を受け付け、メールで添削してくれたのは助かりました」

そう話すのは京都大学に進んだ藤村泰成さん。東京大学に現役合格した串田祐樹さんと大阪大学に進学した笠松泰成さんも、先生のサポートが心強かつたと話します。

「僕たち3人の共通点は塾や予備校に通っていないこと。質問できるのは先生しかいないので、細部までいねいな指導がうれしかったです」(笠松さん)

モチベーションを高め合い
受験に向かって切磋琢磨

精神的にも厳しい難関大学の受験を乗り切れたのは、「仲間がいたから」と3人は口をそろえます。

「高校は皆勤賞。学校に行くのが楽しかったです。部活動が終わり、8時まで学校の自習室で勉強し、帰宅後も1時間くらい勉強するようにしていました」(串田さん)

「自習室で集中して勉強した後、みんなでおしゃべりしながら帰ったのが良い思い出です。勉強が遅れぎみだったのに葛藤もありましたが、野球部OBなので葛藤もありましたが、野球部OB

「学んだことを折に触れて復習し、理解を深めることは、とても喜ばしいことではないか」という意味なんですが、昔の人は学ぶことに熱心で、そして、学ぶことは喜びだつたようです。『嫌々学ぶのはもったいない。いま、こんなに素晴らしい環境の元で、勉強できるのはうれしいことなんだ!』と気付かせてくれました」(串田さん)

「高3のクラス目標が『突破力』でした。この言葉でクラスが一丸になれた気がします」(笠松さん)

「学んだことを折に触れて復習し、理解を深めることは、とても喜ばしいことではないか」という意味なんですが、昔の人は学ぶことに熱心で、そして、学ぶことは喜びだつたようです。『嫌々学ぶのはもったいない。いま、こんなに素晴らしい環境の元で、勉強できるのはうれしいことなんだ!』と気付かせてくれました」(串田さん)

「高3のクラス目標が『突破力』でした。この言葉でクラスが一丸になれた気がします」(笠松さん)

部活動を言い訳にしない
何事も思い切り取り組む

春から大学生活がスタートします。

笠松さんと藤村さんは初めてのひとり暮らし。3人は新しい環境での学びに夢を膨らませています。

「大学でも野球を続けます。中高のように勉強と両立しながら、思い切り打ち込みたいです」(笠松さん)

「ひとり暮らしが始まりますから、まずは自立したい。両親が教師なので、卒業後は教職をめざそとと考えています」(藤村さん)

「東大にはすごい人がいっぱいいると思います。それをチャンスにして、さまざまな人と関わり、刺激を受けながら、将来を考えたいです。そして、東大の先輩からサポートしてもらつたように、自分も後輩に自分の経験を伝えたり、勉強を教えていたいですね」

座右の銘を胸に抱き乗り越えた受験勉強



思い出のユニフォーム姿で、中高生活を振り返る

野球の練習も勉強も常に手を抜く

「世界史の先生の影響で、孔子について調べていたときに見つけた言葉です。た藤村さんのように、串田さんと笠松さんも大学受験中に大事にしていた言葉があります。